

取扱説明書

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書と別冊の取扱説明書(安全上のご注意)をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



このたびはDXアンテナ製品をお買上げいただきまことにありがとうございます。

パーシタップ

UHF・VHF・HF[10~770MHz]懸架形アルミダイカスト屋外ユニット CATV用双方向形分配器・分岐器

2分配器
〈出力端子通電形〉

CAD-72N

4分配器
〈出力端子通電形〉

CAD-74N

1分岐器
〈幹線通電形〉

CAC-101N・CAC-151N・CAC-201N

2分岐器
〈幹線通電形〉

CAC-102N・CAC-152N・CAC-202N

4分岐器
〈幹線通電形〉

CAC-104N・CAC-154N・CAC-204N

● 規格特性

分 配 器 〈入力・出力1端子間通電仕様(AC30V・1A以下)〉

品 名	品 番	インピーダンス(Ω)		分配端子数	使用周波数 (MHz)	VSWR (以下)	分配損失 (dB以下)	端子間結合損失 (dB以上)	シンボル マ ー ク	付 属 品 (個)
		入 力	出 力							
2分配器	CAD-72N	75	75	2	10~76	1.5	4.0	15		防水キャップ×2
					76~250	1.5	4.0	25		
					470~770	1.5	4.0	20		
4分配器	CAD-74N	75	75	4	10~76	1.8	8.0	15		防水キャップ×4
					76~250	1.5	8.0	25		
					470~770	1.5	8.0	20		

分 岐 器 〈幹線[入力・出力端子間]通電仕様(AC30V・1A以下)〉

品 名	品 番	インピーダンス(Ω)			分 岐 端 子 数	使用周波数 (MHz)	VSWR (以下)	挿入損失 (dB以下)	結合損失 (dB以内)	逆結合損失 (dB以上)	端子間結合損失 (dB以上)	シンボル マ ー ク	付 属 品 (個)
		入 力	出 力	分岐出力									
1分岐器	CAC-101N	75	75	75	1	10~76 76~250 470~770	1.8 1.5 1.8	1.2 1.5 1.8	10±1.5 10±1.5 10±1.5	20 30 20	— — —		防水キャップ×1
	CAC-151N	75	75	75	1	10~76 76~250 470~770	1.5 1.5 1.8	1.0 1.0 1.5	15±1.5 15±1.5 15±1.5	30 30 20	— — —		防水キャップ×1
	CAC-201N	75	75	75	1	10~76 76~250 470~770	1.8 1.5 1.8	0.8 1.0 1.3	20±1.5 20±1.5 20±1.5	30 30 20	— — —		防水キャップ×1
2分岐器	CAC-102N	75	75	75	2	10~76 76~250 470~770	2.5 1.5 1.8	2.0 2.0 2.5	10±1.5 10±1.5 10±1.5	20 30 20	15 25 20		防水キャップ×2
	CAC-152N	75	75	75	2	10~76 76~250 470~770	2.5 1.5 1.8	1.5 1.5 1.8	15±1.5 15±1.5 15±1.5	25 30 20	20 25 20		防水キャップ×2
	CAC-202N	75	75	75	2	10~76 76~250 470~770	1.8 1.5 1.8	1.0 1.0 1.5	20±1.5 20±1.5 20±1.5	30 30 20	20 25 20		防水キャップ×2
4分岐器	CAC-104N	75	75	75	4	10~76 76~250 470~770	2.5 1.5 1.8	4.0 4.0 4.5	10±1.5 10±1.5 10±1.5	25 30 20	25 25 20		防水キャップ×4
	CAC-154N	75	75	75	4	10~76 76~250 470~770	2.5 1.5 1.8	1.8 2.0 2.5	15±1.5 15±1.5 15±1.5	30 30 20	20 25 20		防水キャップ×4
	CAC-204N	75	75	75	4	10~76 76~250 470~770	2.5 1.5 1.8	1.2 1.5 1.8	20±1.5 20±1.5 20±1.5	30 30 20	20 25 20		防水キャップ×4

規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

※規格特性は下り信号について表示しています。上り信号の特性は「結合損失」と「逆結合損失」とを呼び換えてください

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・さいたま営業所 TEL.(048)652-3311(代)	・豊橋営業所 TEL.(0532)32-8188(代)	・高松統括営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・サテライトオフィス盛岡 TEL.(019)636-1581(代)	・サテライトオフィス宇都宮 TEL.(028)659-1100(代)	・三重営業所 TEL.(059)226-1643(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・郡山営業所 TEL.(024)921-7131(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	・福岡営業所 TEL.(092)541-0168(代)
・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・茨城営業所 TEL.(0298)26-5341(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代)	・千葉営業所 TEL.(043)253-1121(代)	・大阪営業所 TEL.(06)6334-6381(代)	・大分営業所 TEL.(097)558-7235(代)
・東京ケーブル営業所 TEL.(03)3354-9812(代)	・横浜営業所 TEL.(045)651-2557(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・東京工事営業部 TEL.(03)3341-5281(代)	・静岡統括営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・南九州営業所 TEL.(098)267-8211(代)
・東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-8885(代)	・神戸営業所 TEL.(078)974-7100(代)	・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)
・東京電設営業所 TEL.(03)3633-1430(代)	・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)	
・多摩営業所 TEL.(042)770-2931(代)	・サテライトオフィス松本 TEL.(0263)27-7801(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)	

(2002年3月現在)

DXアンテナ株式会社

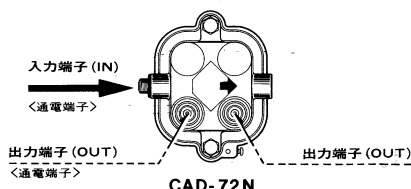
本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-0441(代)

● ユニットの使用方法

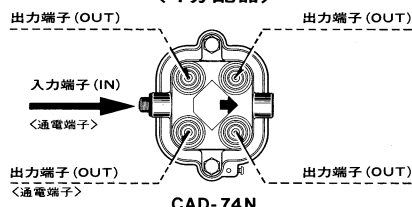
外観およびターミナル構造図

- 図中の「入力端子」「出力端子」の表現は、すべて下り信号を基準として表示されています。
上り信号は、これらの端子をすべて逆方向に流れます。
- 分配器は各機種とも入力・出力1端子間通電形となっています。
- 分岐器は各機種とも幹線(入力・出力端子間)通電形となっています。
- ※ 通電容量は各端子ともAC30V・1Aとなっていますのでこれ以内でご使用ください。

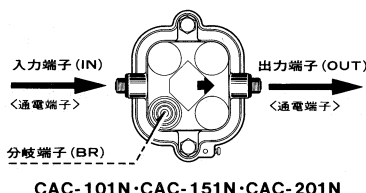
＜2分配器＞



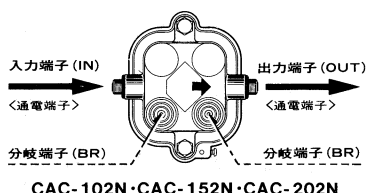
＜4分配器＞



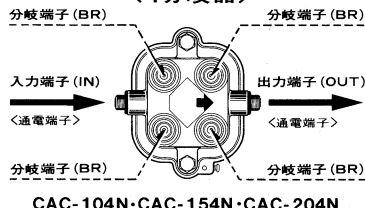
＜1分岐器＞



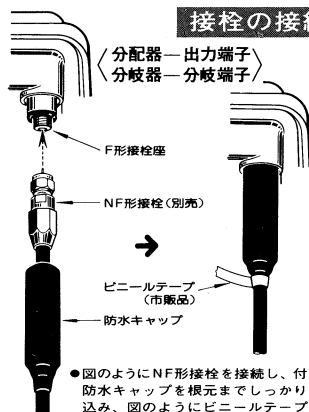
＜2分岐器＞



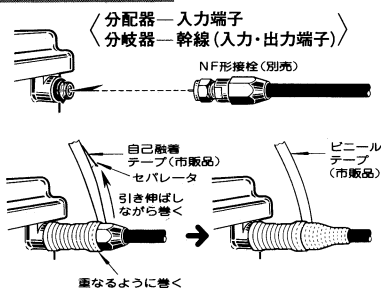
＜4分岐器＞



接栓の接続および防水方法

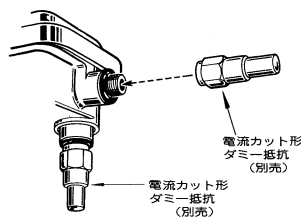


- 図のようにNF形接栓を接続し、付属の防水キャップを根元までしっかりさし込み、図のようにビニールテープを巻いてください。



- 図のようにNF形接栓を接続し、自己融着テープ・ビニールテープで防水をしてください。
- 自己融着テープ・ビニールテープは指でよく押え、融着を促進させてください。
- 自己融着テープ・ビニールテープはユニット側から巻き付けてください。

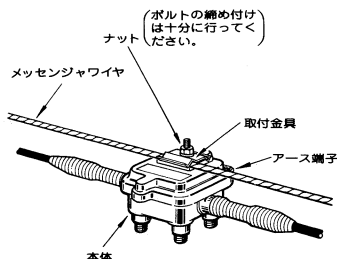
あそび端子についてのご注意



- 分配器・分岐器のあそび端子には電流カット形ダミー抵抗 (DFD-75S) を接続してください。
- ダミー抵抗は必ず自己融着テープ・ビニールテープで防水処理を完全に行ってください。防水処理が不完全だとユニット内部に水が入り、トラブルの原因となります。

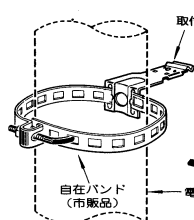
ユニットの取付方法

＜メッセンジャワイヤへの取付け＞



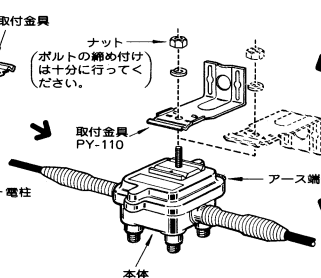
※ 別売の取付金具 PY-110 で図のような取付け方ができます。

＜電柱への取付＞

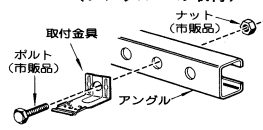


- 図のように取付金具を自在バンドで取付け、ユニットを取付けてください。

＜本体への金具の取付＞

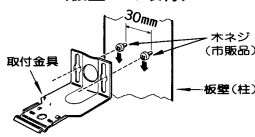


＜アングルへの取付＞



- 取付金具を図のようにボルト・ナットで取付け、ユニットを取付けてください。

＜板壁への取付＞



- 図のように取付金具を木ネジで固定し、ユニットを取付けてください。

使用上のご注意

- UHF帯、VHF帯、HF帯ではケーブル・ユニットの損失が大きく異なりますから、U・V混合で使用される場合は、幹線の入力信号レベルに特にご注意ください。
- ユニットの通電端子にダミー抵抗を使用される場合、ケーブルに電源が重畳されているか否かを必ず確かめてダミー抵抗を選択してご使用ください。(電源が重畳されている場合、電流カット形のダミー抵抗以外は使用できません。)
- F形接栓座にはパーজন方式の防水機構を採用していますので心線挿入部の黒い防水ゴムは絶対に取らないでください。また、防水を完全にするために接栓はしっかり締め付け、自己融着テープ、ビニールテープ、防水キャップで防水処理を行ってください。
- ユニットの本体を1.6φmm以上の銅線でアースしてください。